

## 平成 25 年産 紀南の梅産地情報

13/04/19

1. 4月5日の定点調査では、小梅で着果数は前年より多く、平年より少なかった。古城で着果数は前年よりやや多く、平年並みであった。主力の南高では、着果数は前年よりやや多く、平年より やや少なかった。



4月18日時点の実肥りは、南高で側径が24mmと、昨年より一週間程度進んでいる。

定点調査の着果数（枝径2センチの枝当たり）と着果率

品 種	平年 (H15~24)		平成 24 年		平成 25 年				
	着果率	着果数	着果率	着果数	着果率	着果数	平年比	前年比	作柄指数
小 梅	35.7%	139	32.3%	101	31.4%	124	89%	123%	10.1
古 城	10.7%	38	11.8%	36	10.4%	38	99%	106%	9.7
南 高	14.9%	55	17.3%	48	16.2%	50	93%	106%	9.3
在来系	12.6%	44	18.1%	57	21.5%	57	132%	101%	10.0

2. 4月18日梅部会まとめの生産予想量は、小梅1,015ト（前年比159%、平年比109%）、古城929ト（前年比222%、平年比98%）、南高22,877ト（前年比141%、平年比105%）、在来系672ト（前年比134%、平年比98%）を見込んでいる。生産量は今後の気象等により変動することがある。

3. 出荷販売時期は、生育・実肥りが良いことから、小梅は5月17日頃から、古城は5月20日頃から、南高は5月末頃からの販売を予定している。

4. 結実後の気温は、2月下旬は平年・前年を下回ったが、3月から4月にかけては、平年よりも高く推移している。降水量は平年に比べやや少なくなっている。4月15日には、一部地域で前線の通過に伴う降雹があり、傷果の発生が見られる。

月 旬	平均気温 °C				降水量 mm			
	平年	23年	24年	25年	平年	23年	24年	25年
3月中旬	10.3	9.8	8.8	13.0	44.0	31.0	17.0	25.5
3月下旬	11.8	9.2	10.9	13.0	51.1	36.0	81.0	13.0
4月上旬	13.8	13.9	12.3	14.2	50.0	27.5	35.0	41.5

南紀白浜気象データより（平年は白浜気象データ）